

【なぜ近年の屋根材は安易に塗装してはいけないのか？】

続々と問い合わせが入ってきています。皆様も屋根を御確認下さい！

[事例A：近年一番問題になっている屋根材です]



劣化の進行



劣化の進行



劣化のひどい北面の状況

屋根材(スレート)本体が、ミルフィーユの様に層になって剥がれ崩れていく症状です。

[事例B：かけ落ち及び空洞化が多い屋根材です]



かけ落ち



かけ落ちと空洞化



かけ落ちと空洞化



かけ落ちと空洞化

屋根材(スレート)本体が、内部からかけ落ち空洞化していく症状です。

日頃ポスティング業務を行なっている際に、この屋根材に塗装工事を行なってしまったお宅をよく目にします。どのような御提案を受けられたのか？疑問です。施工済の方の中には「知り合いの業者でそうされてしまい、付き合いがあって言いにくいし、信頼してたのにとってもショック！」との声もございました。

皆様のご自宅の屋根に、このような症状がありませんか？是非、屋根をご覧になってみて下さい！

双眼鏡があると便利です。お持ちでない皆様にはお貸し出来ますので、お気軽にお申し付け下さい。



※危険ですので絶対に屋根には上らないで下さい。

このような屋根材は、塗装するだけでは守りきれません！密着不良を起こしてしまいます。

塗料メーカーも、塗膜の密着は、屋根材自体が安定している事が大前提としています。